

安全抜きの大飯原発再稼働いいのか

知事は政府に声上げよ



日本共産党愛知県委員会は4月13日、大村秀章知事あてに関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）の再稼働を許さず、原発撤退へ積極的な努力を行うよう要請しました。
（写真＝右からもとむら参院選挙区候補、河江衆院比例候補）

共産党愛知県委員会が要請

河江比例候補と小選挙区候補、もとむら参院選挙区候補ら

要請には河江明美衆院比例候補、小選挙区候補の西田とし子氏（4区）、藤井ひろき氏（5区）、柳沢けさみ氏（6区）、郷うこん修氏（7区）、いたくら正文氏（10区）と、もとむら伸子参院選挙区候補、八田ひろ子党中央委員、大野宙光名古屋北西地区委員長が参加。河江氏やもとむら氏らは、県内でも再稼働に反対する意見が多数をしめていることを指摘しました。

愛知県こそ「地元」

さらに、市民団体などが、原発が多数立地する若狭湾から風船を飛ばして風向きを調査し、多くが愛知県や岐阜県の濃尾平野で発見されたことをあげ、「原発

事故の影響は福島県で示されたように、決して同心円ではない。大飯原発が事故を起こせば放射性物質が県内に飛来する危険が指摘されている。大村知事も『地元』の当事者として、先頭を切って政府に声を上げてほしい」と訴えました。

まだスタートライン

対応した知事政策局秘書課の河合課長補佐らは、「原発事故を想定した防災計画をこれからつくるなど、県としてどう対応するのかスタートラインに立ったところ。安心と安全を担保することを基本に一步を踏み出したい」と述べるにとどまりました。さらに力をあわせ、県知事を動かす大きな運動を起こしましょう。

●真実がわかる 明日が見える—「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2012年
4月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。